

～ 【 2学期スタート 】 ～

2学期が始まりました。始業式に向けて、東京オリンピック、記録的長雨、部活動の頑張り、水やり当番への感謝等たくさん話すべきことを考えていました。しかし学年別始業式を実施し、各担当からの連絡も多いということで、最も生徒に伝えたいことは何か、を考え、やはり前号でも書きました通り、コロナ禍でのやさしさ、思いやりについて話すべきだろうと思い、そのことだけを話しました。

始業式は、9時から1年生、11時から2年生、14時から3年生の順で行いました。朝から徐々に気温が上がりが続き、3年生の始業式を実施する頃は汗ばむほどの気温



【オンライン授業のオリエンテーション】

になっていましたが、さすが3年生でした。真剣に話を聴く横顔を見ながら、夏休み中、受験勉強で自らを追い込んだ成果がこうした時の態度に出ているな、と思いました。

始業式では以下の話をしました。
～1学期まではコロナウイルスに感染しないように、みなさん注意しましょう、そんなレベルでした。それが夏休み中に、さらに警戒ステージが上がリ、今は、いつ感染しても当たり前。感染していかに対応すべきか、という段階に入ってしまった。新聞で報じられている通り、現に、熊本市内の中学校でもクラスターが発生する事態となっています。

全く先行きの見えない、不透明な2学期のスタートになってしまいましたが、こうした苦難の時だからこそ、鹿南中の真実の姿が問われます。

そこで苦難の2学期の始業式にあたり、みなさんに一つだけお願いをします。

いずれ、この中の誰かがコロナウイルスに感染すると思います。しかし、そうした事態になってもみなさん決して慌てず、パニックにならず、冷静に落ち着いて判断行動し、感染してしまった人が、安心して学校を休み、しっかり治療し、そしてまた笑顔で登校できる、そんな集団になってほしいと思います。

コロナウイルスに感染したことが、いじめのスタートとなり、その人の身も心もボロボロにしまった、という事態にならないように心配り、目配り、心配りをしてください。

もし自分がコロナウイルスに感染したら、友達からどのようにしてほしいか、という視点で考え、

行動してください。

「ピンチ」を「チャンス」と言います。こうした時期を一つのバネにして、鹿南中生が、人としてより高みに到達する、そんな2学期にしてほしいと思います。共に力を合わせて、2学期を乗り切りましょう。～

保護者の皆様におかれましても、よろしくお願ひいたします。

～ 【 未来型授業の開始 】 ～

夏休みも終わりに近づいたころ、市教委から2学期のオンライン授業についての指示がありました。全国レベルでの感染者の激増のニュースが連日報じられていましたので、「ひょっとしたら。」の思いはありました。

学校では情報担当の甲斐先生を中心に、それぞれの先生がアイデアを出し合い、「鹿南型オンライン授業」の計画が作られました。

オンライン授業を受ける手順については、昨日までに全学年のオリエンテーションを終えました。

そしていよいよ今日からオンライン授業が始まりました。改めて「オンライン授業」をいうものと考えてみれば、学校の授業が、20年遅れではありますが、いよいよ「21世紀型」「未来型」の授業に進化したものだと思います。

授業は学校でするもの、という、明治以来の枠組みが、オンライン授業の開始によって解体されていきます。自分の家にながら学校の授業を受けられて、宿題もオンラインで提出できるなんて、私達が子どもの頃には、ドラえもんの便利グッズによってしかできない技術でした。

ただし、家庭で学校の授業を受けるといことは、自分で自分を律する強い心と行動力が必要になることは言うまでもありません。便利なものの陰にはそれなりの代償が必要になるものです。生徒諸君、がんばれ！ご家庭でのご指導もよろしくお願いいたします。



【オンライン授業：1年生】



【オンライン授業：3年生】

